



Yonago East Weekly

50年を経て、さらに求める「奉仕の理想」

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 Tel (0859) 32-5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ANAクラウンプラザホテル米子
米子市久米町53-2 Tel (0859) 36-1111
- 会長/永島清孝 ●幹事/今出 上 ●会報/黒見純治

出席報告

会員数 112名
 出席数 63名 欠席数 44名
 出席免除会員 5名 名 荒川(雄)君 杉原(弘)君
 新納君 佐田山君 宮本(守)君
 出席率 60.36 %
 補正出席率 前回 4/3 75.45 % 3/27 69.91 %

ビジター

メーキャップ

会員5名(4/17第3回プログラム委員会)会員25名
 (4/17新年度理事・リーダー打ち合わせ)会員2名
 (4/17 5RC野球大会戦代表者会議) 会員13名
 (4/18米子中央RC)永島(正)君(4/20第2回地区IA
 委員会 松江エクセルホテル東急)赤山会員、井上
 (雄)会員、永島(正)君(4/20~21IA地区協議会)
 会員14名(4/21大山春の一斉清掃)

今週のお祝い

夫人誕生祝:2日 高田 剛君 5日 中村剛士君
 7日 岩崎 浩君 11日 井上弘達君 15日 諸
 遊哲也君 19日 荒川雄司君 22日 黒見純治
 君 入江 到君 23日 梅田整一君 26日 秦野
 啓一君

スマイルBOX 49,000 円 (1,203,000 円)
 本人誕生祝:足立(慶)君、平岡君、木山君
 夫人誕生祝:足立(慶)君、秦野君、黒見君、諸遊
 君、中村君、梅田君、高田(剛)君 結婚記念日祝:
 足立(慶)君、木美君、杉本君 創立記念日祝:赤
 山君、大道君 本日午前中、米子日本語学校開
 校式並びに入学式を挙行致しました。:永島(正)
 君 石田光輝さん 日本作曲家協会グランプリV6
 (日本唯一)おめでとうございます。偉大な郷土の
 宝です。歓迎致します。:初代後援会長 杉原(弘)
 君 足の怪我ではお見舞いを頂きました。お蔭様
 でようやく歩けるようになりました。:吉岡君

会長挨拶

4月になりますと新年度ということで、各地区で町内
 会等の総会とかが開催されるのですが、最近困った
 ことに、どこの地区でも高齢化が進み、町内会の運
 営や伝統的な行事を続けて行くことが困難になってき
 ています。私の住んでいる地区でも出席者の半数が
 70歳以上の女性です。職業でも同じで、私は食品
 品を扱っておりますが、郡部では食品品を扱う業者が
 成り立たなくなり、ほとんどの店が廃業されました。一
 番の理由は人口減少にあると思われます。人口減少
 は他の産業にも多大な影響を与えております。

ロータリーにおいても地域経済が衰退するとロータ
 リークラブの存続にも影響が出ます。ロータリーは世
 界的にポリオ撲滅等の事業を行っておりますが、ま
 ずは我々の足元の地域において、若者の地域離れ
 や人口減少を食い止めなければ、ロータリーの発展
 は見込めないのではないのでしょうか。そのことはロー
 タリーの地区研修会でも言われておりますが、何とか
 若者がこの地域に安心して定住してもらえるよう、人
 口減少に歯止めをかける事を、わがロータリーでも出
 来ないものか考えているところでございます。

幹事報告

- 1.本日例会終了後、新年度理事・リーダー打ち合
 わせ (3F千鳥にて開催)
- 2.4/21大山春の一斉清掃
 会員14名、米子松蔭IAC2名予定
- 3.5/8職場訪問「山陰労災病院ミニ人間ドック」の
 ご案内を本日FAX 先着20名
- 4.4/6IMお礼状 (鳥取RC)
- 5.2017-18年度 100%ロータリー財団寄付クラブ
 認証バナー&End Polio Now:「歴史をつくる
 カウントダウン」キャンペーン感謝状
- 6.総社吉備路RC創立30周年記念誌
- 7.例会変更のお知らせ
 米子中央RC 4/18(木)夜間例会
 ビジター受付あり
 4/25(木)休会 なし
 米子 4/26(金)夜間例会 あり
 境港・鳥取北 4/30(火)休会 なし
 鳥取 4/25(木)休会 なし



BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう

<プログラム>

「歌と歩んだ人生」

日本作曲大賞受賞 作曲家
石田光輝 氏



出身は境港市で、1950年昭和25年に境港市で生まれました。境小学校-境1中-境高校と歩み、4歳の頃よりラジオ番組に出てとにかく歌謡曲と音楽にのめり込みました。

歌手を目指してましたが小学校3年生の頃、声変わりをしまして今の声に至ります。大人の歌謡曲を歌うのにぴったりの音域でしたが。

小学校5年のときに橋幸夫などの青春歌謡歌手に憧れ僕の生きる道はこれしかないと思いました。中学生になりラジオから聞く歌の歌詞を1回で覚え友達に披露する自由に歌う日が続きました。そうしたうちに作詞に興味を持ち、真似事を始め、100作以上作りました。自身のある作詞に作曲の出来る友人がいて作曲を依頼したところ、ひどく悪いものが出来上がり、こんな物だったら自分で作曲をした方が良くと作曲もするようになりましたが、この友人が、この時に良い曲を書いていたら今の自分の作曲家は無かったのかと思います。

高校2年の時、作詞作曲を当時NHKで「あなたのメロディ」という番組に応募したところ受かりまして地元でも評判になり親も含め音楽に対して応援してくるようになり自分もその気になりました。その後、歌謡曲よりエレキ化してしまひましてエレキバンドにのめり込みました。

高校卒業時には東京へ上京するのに資金を作るためナイトクラブに入りバンド活動をしたところ、思

わずどっぷり浸かってしまい、あの頃の華やかな朝日町でのバンドボーカル、もてましたし、ギャラも良く、思い上がりました。

しかしこんなことが続くはずも無いと家族も出来、東京も諦めかけた時でした。29歳の時にバンドマンは辞めよう、スナックをしようと思った時、世の中にカラオケというものが入ってきました。バンドが無くても、何処でも完璧な演奏で歌えるツールの誕生に音楽を辞めようと思わされましたが捨てきれず、俺には歌だけではなく作曲がある。作曲家になたらどうかと自分を追い込みました。

作曲家を目指し、5年で成果が出なかったら辞めようと決意し挑んだ最初の曲がサンミュージックのアイドルの歌に即採用になり、その後次から次へと採用になり、平成元年に初めて、作曲家大賞を頂き舞い上がりました。

また、時期も良かったのか、カラオケブームにものり、印税がガバガバと入り印税バブルと言うものを経験し又舞い上がりました。平成10年に石川さゆりさんへの作曲で受賞し、又舞い上がりましたが、その時すでに遅し、カラオケが世の中からレーザーディスクが消えた時でカラオケ機がレーザーから通信に変わり時代と共に収入の方も減りました。ちなみに通信カラオケの作曲家への印税は、1曲歌うたびに1円しか入りません。悲惨な状態になりました……

これから面白い話と言う事でしたが、時間が来ましたので、残念ながら終わらせて頂きます。話が途中で終わりましたので、機会がありましたら、続きの話を(第2部を)楽しみにしてください。

4/21大山春の一斉清掃

荒川(圭)君、深井君、長谷川(進)君、堀君、今出幹事、石部君、岩岡君、宮永君、永島会長、西村(偉)君、桶村君、尾沢(裕)君、内田君、山根(文)君

次回プログラム

- 4/24 「ロータリーの友」紹介 雑誌委員会
「米子城跡を活かしたまちづくり」
米子市文化課学芸員 濱野浩美 氏
- 5/1 休会
- 5/8 職場訪問「山陰労災ミニ人間ドック」
(希望者のみ)

例会13:00終了

